



# 栄小学校だより

令和7年10月28日（火） No.19

## 令和7年度運動会

当初は10月25日(土)に予定しておりましたが、雨のためグラウンドコンディションが悪く、28日(火)にやっと「令和7年度栄小学校運動会」を開催できました。当日は鈴鹿市教育委員会事務局教育指導課研究グループリーダー・栄小学校学校運営協議会委員等、来賓の方々にお越しいただき、また、たくさんの保護者の皆様の温かいご声援の下、盛大に開催することができました。

少し肌寒い天候でしたが、こどもたちは、集中して本番に取り組むことができました。

徒競走では、全員が最後まで懸命に走り切りました。また、低中高学年別に行った表現運動では、練習の成果を十分に発揮し、素敵な演技を見せてくれました。

そして、たくさんの保護者や地域の方の温かい声援で子どもたちの頑張りを引き出していただきました。ありがとうございました。

### <閉会式での校長の講評>

今日の運動会、みなさんの演技や競技に全力で取り組む姿、仲間を精一杯に応援する声援、係活動の責任を果たす姿勢など、運動会の至る場面に、みなさんの頑張りをたくさん見ることができました。本当によくがんばりました。

また、一人ひとりのがんばりも、さることながら、互いに励まし合い、チームのために粘り強く最後までやりぬく姿が、全ての学年に感じられました。校長先生は、みなさんの今日の姿に心から感動しました。

次に、各学年団の演技について感想を述べます。

1・2年生の「かがやけ！ えがおとゆうじょうのわ」は、元気いっぱい、笑顔がキラキラ輝いていました。難しい振り付けも一生懸命覚え、会場全体を、かわいらしさと楽しさで包んでくれました。その純粋なエネルギーは、みんなの心を温かくしてくれました。

3・4年生の「栄小ソーラン2025！」では、仲間と息を合わせる大切さが伝わってきました。一つ一つの動きに力強さと、まとまりが生まれ、練習を重ねてきた努力の「あかし」を見せてくれました。体全体で表現するダイナミックな動きに、大きな成長を感じました。

そして、5・6年生の「友 ～出逢えてよかった ありがとう～」は、まさに圧巻でした。複雑なフォーメーション、集団の美しさ、そして、一人一人の真剣なまなざし。全員の「心をつなげる」という強い意志が、素晴らしい感動を生み出しました。

全校の皆さん、表現運動は、自分を表現するだけでなく、仲間と協力し、一つの目標に向かっていく過程そのものが大切です。今日、皆さんが表現運動を通して身に付けた「仲間を思いやる心」「やり抜く力」は、これからの学校生活、そして将来、必ず役に立つ宝物となるはずです。

最後になりましたが、御来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、準備ならびに応援と、今日の運動会を支えてくださり、また、温かく見守っていただき、本当にありがとうございました。

